

# ゆうちょ お金のちしき

楽しく学んで、身につけよう!

中学生用  
金融教育  
教材



ゆうちょ銀行

※本書の無断転載・複写を禁じます。

# 1

## お金の歴史と役割

ずっと昔、人間は衣食住に必要な物を自ら手に入れたり作り出して生活を営んでいました。

肉や魚を獲ったり木の実を拾ったり、家や着る物を自分たちで作りました。このような生活の仕方を「自給自足」と言います。



その後、人々は自分たちが手に入れにくい物は、他の集団と交換して得るようになりました。

これを「物々交換」と言います。しかしこの物々交換では、自分たちの欲しい物が見つからなかったり、相手が自分たちの物を欲しがらないこともあり、交換が成立しないことがありました。

例えば肉や魚などは、交換が成り立たないと腐ってしまいます。

そこで、保存しやすく持ち歩きやすく誰もが欲しがる、米(穀物)や塩をお金の代わりにしたのです。これらを「物品貨幣」と呼んでいます。



生活に必要な米(穀物)や塩がお金の代わりにしていたんだ。昔から大切な物だったんだね。

会社で働く人のことを「サラリーマン」と言うけれど、「サラリー」はラテン語の「サラリウム(塩)」からきているそうだよ。昔のローマでは、お給料が塩で払われていたことがあるんだって。



**のちに硬貨や紙幣が造られるようになり、  
今では電子マネーもお金として使われるようになりました。**



電子マネーには、お金がいくらあるかというデータをコンピュータのメモリーに記憶させ、インターネットなどのネット上で流通させるネットワーク型と、ICカードのチップに記憶させ、ICカードの読み書きが可能な端末等を通じて流通させるICカード型があるよ。小銭などをたくさん持ち歩く必要がなく便利なので、電子マネーを使う人が増えているよ。

# 1

## お金の歴史と役割

お金には3つの役割があります。

(1)物やサービスとの交換手段

お金と交換することで、欲しい物を手に入れたりサービスを利用できます。

(2)貯めておく手段

硬貨や紙幣は、米(穀物)や塩などのように品質が変わらないので、貯めておけます。

(3)物やサービスの価値を表す手段

例えば、サッカーボール、ピアノのレッスン代、おこづかいといった違うものでも、値段によって価値を測ることができます。

交換

貯める

価値を表す



今のお金は紙や金属でできていて、米(穀物)や塩のように生活にどうしても必要ではないよね。どうして物を買ったり貯めたりできるのかな?

それはお金を発行して価値を保証する国を、みんなが信用しているからなんだ。

100円硬貨には100円の価値が、10,000円紙幣には10,000円の価値があるとみんなが信じているので、お店で使ったり銀行に預けたりできるんだよ。



お金をやりとりするカードは、電子マネーのほかにもあります。

キャッシュカード\*1は、銀行などに口座を開いた人に発行され、ATM(現金自動預払機)で現金を引き出したり預け入れることができます。

一方クレジットカード\*2は、カードを提示することで支払いができ、品物やサービスを受け取った後にカード会社に代金を支払うという仕組みです。現代社会では、電子マネーなど「見えないお金」を使う機会が増えているので、こうしたお金も上手に使うことが大切になっています。

\*1:銀行に口座を開いた人が作れるカード。現金を引き出したり預け入れることができます。暗証番号(パスワード)などの管理が大事です。

\*2:カード会社に加盟しているお店で、カードを提示して買い物をするすることができます。お店にはカード会社が先に代金を支払い、利用者は後でカード会社にお金を支払う仕組みです。「クレジット=信用」であることからわかる通り、カードを持つ人に収入があり、買い物した後で代金を支払えるという信用が重視されます。

### まとめ

- (1)かつて米(穀物)や塩などの生活に欠かせない物が、お金として使われていた。
- (2)やがて硬貨や紙幣が生まれ、今では電子マネーなどの「見えないお金」も使われている。
- (3)お金には3つの役割がある。
  - ①物やサービスとの交換手段、②貯めておく手段、
  - ③物やサービスの価値を表す手段
- (4)お金はみんなが信用しているからこそ成り立つ。

# 2 家のお金の 使い道を知ろう



家にあるお金は、お家の人が仕事をして得られたものだよね。

そうね、そのお金は毎月何にどのくらい使っているんだろう？ 私たちの学校や習い事にもお金が使われているよね。



## 2人以上の勤労者世帯の消費支出 (月平均・全国平均)

総務省統計局「家計調査結果」2022年平均より

消費支出合計 320,627円



食料(米、パン、魚介類、肉類、野菜類、外食など) 80,502円



住居(家賃・地代、設備、修繕材料代など)※ 20,115円



光熱・水道(電気、ガス、水道代など) 24,421円



家具・家事用品(家具、電化製品、家事雑貨など) 13,000円



被服・履物(衣類、下着、靴下、靴など) 11,293円



保健医療(医薬品、診療代、医療器具など) 13,708円



交通・通信(電車・バス代、携帯電話代など) 50,688円



教育(授業料、教科書・参考書代など) 18,126円

教養娯楽(テレビ、パソコン、文房具、新聞など) 29,737円

その他(おこづかい、交際費、美容院代など) 59,036円

※住居には、住宅ローンは含まれていません。



家計ではいろいろなことにお金を支払っているのね。まずは食費や家にかかるお金、電気・ガス・水道にかかるお金、学校にかかるお金、さらに将来のための貯金など「必要な物」に使って、そこで残ったお金で「欲しい物」を買うことが大事なんだね。

おこづかいも同じように計画的に使わないといけないね。

毎月のことだけではなく、1年間や将来のことも考えて、使い道に優先順位をつけて、収入の範囲で上手に使ったり貯めたりすることを「やりくり」と言うんだよ。



# 2



## おこづかいの 年間計画を立てよう!

収入(おこづかいの金額)は決まっているけど、支出(おこづかいの使い道)は毎月違うね。  
その使い方を見直す方法を学んでいきましょう。

### 1年間の計画を立ててみよう。

#### ●1年間の収入計画

1か月のおこづかいの金額	<input type="text"/>	円 (A)
1年間の合計金額	<input type="text"/>	円 (B=A×12)

#### ●1年間の支出計画・・・おこづかいを貯めて買いたい物を考えよう。

おこづかいを貯めて買いたい物		
合計額	<input type="text"/>	円 (C)
毎月いくらずつ貯めたらいいだろう?	<input type="text"/>	円 (D=C÷12)
そうすると、毎月使えるお金は?	<input type="text"/>	円 (E=A-D)

毎日毎月のことだけではなくて、1年間の使い道も考えて計画を立てないといけないね。



### まとめ

- (1)お家の人が仕事をすることによって得られたお金は、感謝の気持ちを持って大切に使う。
- (2)家計では限られた収入の中で、まず「必要な物」に優先して使われる。いろいろな生活費のほかに、将来のための貯金、急に必要になったときのために備えておくお金も含まれる。それらを差し引いて残ったお金は、「欲しい物」を買うなど楽しみのために使える。
- (3)「おこづかい」も家計と同じ。「必要な物」「欲しい物」を区別して上手にやりくりできるようになろう。

# 3

## お金と社会 —値段の決めり方

同じ商品でも値段は店によって違ったり、  
同じ店でも日によって異なります。  
それはなぜでしょうか。

値段は物を製造する会社や販売する会社が決めています。  
どのくらい人手がかかったかという人件費、製造する際にか  
かった材料費、販売する場所へ運ぶ運搬費などによって、値  
段は高くなったり安くなったりします。そこに、その会社の利  
益を加えて値段が決められるのです。



値段は「買う側の買いたい量=需要」と  
「売る側の売りたい量=供給」の  
バランスで決まるんだ。

例えば魚の漁獲量は、天候や時期などによって  
大きく変わるよね。たくさん獲れるときもあれ  
ば、少ないときもある。漁獲量が多いときは、  
需要に対して供給が多くなるので値段は安く  
なるんだよ。逆に漁獲量が少ないときは、需  
要に対して供給が少ないので値段は高くなる。



携帯電話は新しい機種が販売され  
ると、逆に古い機種は値下げされ  
るよ。流行の物や最新の物は  
値段が高いことが多いので、冷静  
になって本当にそれが欲しいの  
かを考えてみた方がいいね。



流行の服やゲーム、コンサートの  
チケットも同じことが言えるね。  
人気のあるものはみんなが欲し  
がるから、値段は高くなること  
が多いんだね。

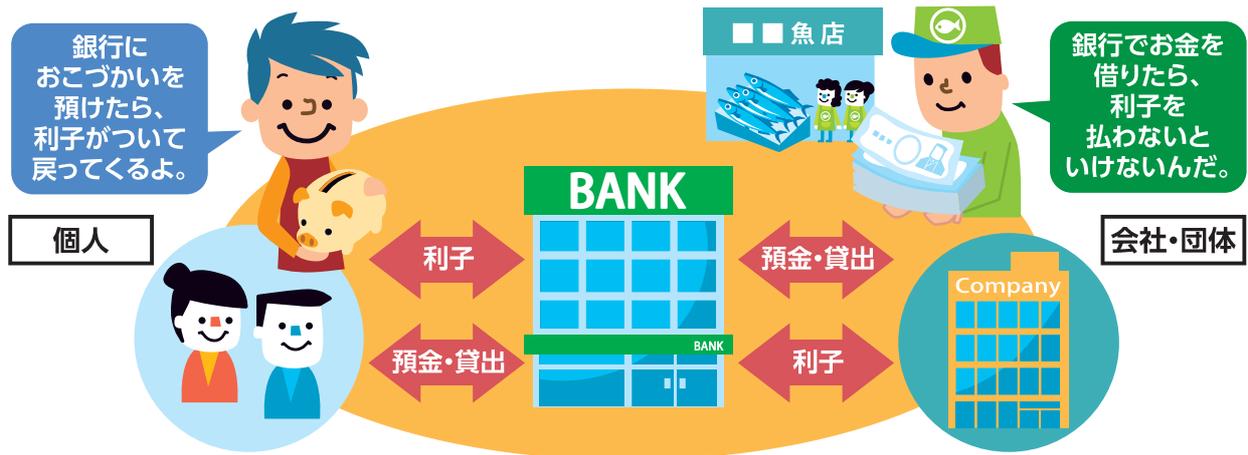
### まとめ

- (1) 値段は製造される際の人件費や材料費、販売する際の人件費や運搬費などの様々な費用が積み重なって決められる。
- (2) 需要と供給のバランスによっても値段は変わる。
- (3) 流行の物、最新の物は値段が高いことが多いので、本当にそれが欲しいかを考えることが大事。

# 3 お金と社会 —銀行の役割

銀行はどんな役割を果たしているでしょう。

銀行はまず多くの人や会社などから、預金・貯金としてお金を預かります。預金者(=お金を預けた人)にとっては会社や家に現金を置いておくよりも、盗難や紛失の心配が少ないので安全で安心です。



預けるときと借るときは銀行によって異なりますので、口座を開く際には調べてみましょう。また中学生でも保護者の承認のもとに口座を持つことができます。おこづかいやお年玉を、欲しい物を買うために、また将来のために貯めてみてはどうでしょう。

銀行は、お給料や売上金(=商品などを売って得たお金)の振込み、公共料金やクレジットカードの利用代金などの口座振替(自動引き落とし)を行っているよ。預金者は支払いや受け取りにかかる時間や労力を少なくすることができるし、また遠隔地に住んでいる人(例えば外国の人)へもすみやかにお金の受け渡しができるんだ。銀行は、お金の支払い・受け取りなど決済※手段を提供することによって、経済活動を効率化しているんだよ。



※商品やサービスとその代金の受け渡しにより、売買取引を完了すること。

## まとめ

- 銀行には3つの役割がある。
- (1) お金を個人や会社などから預かって安全に保管する。
  - (2) お金を個人や会社に貸し出し、住宅などの購入や事業の運営に必要な資金を提供する。
  - (3) 振り込みや受け取りなど、個人や会社間のお金のやり取りの仲介をして決済機能を果たす。
- こうして銀行は社会のお金の流れをスムーズにし、経済活動の効率化をもたらす役割を担っている。

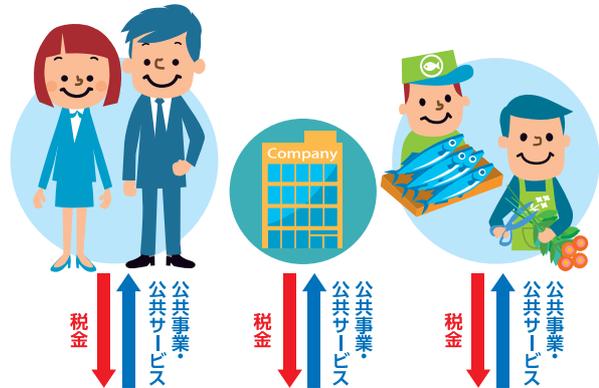
# 3 お金と社会 —税金の知識



買い物をすると消費税がかかるね。大人はもっと税金を支払っているのかな？

大人になって働くようになると、収入に応じて所得税を納めることになります。

住んでいる自治体(都道府県や市区町村)に納める住民税もあります。個人だけではなく、会社も利益に応じて税金を支払います。



国・自治体

みんなが納めた税金は、公共事業や公共サービスに使われているよ。

道路や橋を造ったり、警察や消防、救急、ごみ処理など生活をやすくするための費用や、公立の小中学校の授業料や教科書代なども、税金でまかなわれているんだ。



税金はみんなの暮らしを支えるために大切なお金。

みんなも買い物をすれば消費税を支払っています。どのような使われ方をするのか関心を持ちましょう。自治体の広報誌やホームページでは町のために税金をどう使っているか、国税庁のホームページでは国のために何に税金を使っているか確認できます。



## まとめ

税金は普段の生活を快適に過ごすための公共事業や公共サービスに使われている。支払うのは国民の義務なので、使われ方に関心を持つことが大切。

# 4

## 中学生でも巻き込まれるお金のトラブル



この間、駅前で知らない人から、「いつでも映画が見られるチケットがあるんだけど買わない？ すごくお得だよ!」って声をかけられたんだ。詳しく話すからって喫茶店に誘われたけれど、ちょっと怖くて断ったよ。

こうしたセールスの方法のすべてが悪いわけではありませんが、販売する人が悪意を持って言葉巧みに嘘をついたり脅したりして商品を買わせようとする場合があります。これを「悪質商法」と言います。



例えば、

●アポイントメント・セールス

電話やメールで景品が当たったと言って呼び出して、商品を買わせる。



●キャッチ・セールス

アンケートなどの名目で路上で呼び止め、商品を買わせる。

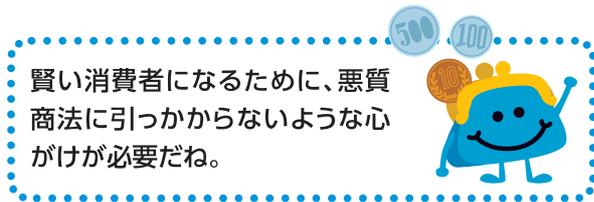


●開運商法

「買わないと不幸になる」など、不安な気持ちにさせて商品を買わせる。

思いがけないお金のトラブルに、中学生でも巻き込まれる危険があります。

そんなときはまず自分だけで解決しようとせず、お家の人など信頼できる大人に相談しましょう。声をかけられても簡単についていけない、名前や住所を書いたりしない、といった注意が必要です。



賢い消費者になるために、悪質商法に引っかからないような心がけが必要だね。

### まとめ

- (1) 路上で声をかけられたら、用件が何かを確かめる。必要ではない商品の販売は、断る勇気を持つ。
- (2) 簡単にサインをしたり、はんこを押したりしない。その場でお金を支払わない。

# 5 「見えないお金」との付き合い方



最近、友達の携帯電話に心当たりがないのに、会員サイトを利用したから料金を払ってメールがきたんだって。

私の友達も、通販サイトで買った服が思っていた物と違っていただけから、返品しようとしたらできなかつたって言った。



そんなときはどうしたらいいんだろう？



クリックしてね!



最近では、インターネットで調べ物をしたり、買い物をすることが当たり前になってきました。好きなゲームや音楽もダウンロードできるし、とても便利な世の中になりました。その一方で、インターネットでのお金のトラブルも増えています。便利さの裏側に危険があることを忘れてはいけません。

例えばインターネットで品物を購入したときに…

代金をコンビニで振り込んだのに商品が届かず、業者に連絡が取れなくなったり、送られてきた品物が思っていたブランドの物と違うというケースもあるよ。それに名前や住所などの個人情報を悪用されることもあるんだ。



## こうしたお金のトラブルを防ぐためには

- (1) 販売業者が信頼できるかどうか(会社の名前や住所が実在するものかなど)をしっかり確認する。
- (2) 代金の前払いは慎重にする。
- (3) 商品を注文する場合は、控えを保存したり印刷しておく。

# 5



## こんなとき、あなたならどうする？

### ケースA

「電子マネーを持っているから、お菓子を買ってあげる」と友達に言われました。さあどうしよう？



1. 買ってもらう。
2. 電子マネーも本物のお金と一緒にだから遠慮する。
3. 自分の分は自分で払う。

気軽に使える電子マネーであっても、家の人のお金をチャージしたもの。買ってあげたり買ってもらうたりすることはお金の貸し借りと一緒にだよ。

### ケースB

知らない会員サイトから、「ご利用の代金が支払われていませんので、口座番号と暗証番号を今日中にご連絡ください」というメールが携帯電話に届きました。どうしたらいいんだろう？



1. 事情がわからないので連絡して聞いてみる。
2. 心当たりがないので連絡しない。
3. 口座番号、暗証番号などは絶対に教えない。

架空請求メールは、お金をだましとろうとする詐欺の手口の一つ。心当たりがなければ、返信したり個人情報を教えてはいけません。

### ケースC

通販サイトで買ったスニーカーが想像していた物と違ったので、業者に問い合わせたら返品できないと言われました。お金はすでにコンビニで支払った後のことでした。どうしよう？



1. あきらめる。
2. お家の人に相談する。
3. 消費生活センターなど、専門の機関に相談する。

インターネットでの買い物、音楽などのダウンロードは便利である反面、トラブルも増えています。一人で抱え込まずに、まわりの大人や関係機関に相談しよう。

**正解** ケースA[2][3]、ケースB[2][3]、ケースC[2][3]

### まとめ

- (1) 電子マネーなどの「見えないお金」は、現金と同じようにきちんと管理することが必要。インターネットでの買い物も慎重に。
- (2) 悪用される恐れがあるので、個人情報の取り扱いに気をつける。
- (3) お金のトラブルに巻き込まれたら自分だけで抱え込まず、お家の人や信頼できる大人、消費生活センターなどに相談する。